

### ◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課  
〒311-3192  
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080  
☎ 029-292-1111  
メールアドレス  
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

### ◆人口

住民基本台帳  
平成30年10月末現在  
男 16,414人  
女 16,347人  
総人口 32,761人  
世帯数 13,105世帯

### ◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

### ◆町の情報発信中!!



●町公式ホームページ  
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター  
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式Instagram  
[https://www.instagram.com/townibaraki\\_official/](https://www.instagram.com/townibaraki_official/)



## 里山に育む生きものたち

No.76 ヨシガモ

(カモ科)

学名 *Anas falcata*

写真・文 山口 萬壽美

私は、小学5年生の遠足時から涸沼に親しみ、これまで多くの鳥たちを見てきました。今回は、冬季湖面に浮かんで多く見られるカモ科(ガン、カモ、ハクチョウ類)についてお話しします。カモ類は、マガンをはじめ、今までに30種(13%)が確認されてきました。彼らの種類や数量は、涸沼の水質や環境の変化によって、変わります。

### ▼ナポレオン帽子のよくな頭部

ヨシガモの雄成鳥の頭は扁平で、赤紫色と緑色の部分からなり、後頭に房状の部分があることから「ナポレオンの帽子」の

ようだ。」と言う人もいます。喉は白く、黒い首輪状の斑、黒い嘴があります。また、眼から後頭にかけては緑色光沢で、額には白斑があります。咽から上頸は淡黄色です。また、雌は全身が褐色で黒褐色の斑が入ります。「ホイップルル」と鳴きます。

### ▼分布

シベリア東部、サハラなどで繁殖し、日本では北海道でも繁殖します。朝鮮や中国などで越冬します。冬鳥として全国区に記録があります。が、県内では、涸沼や大塚池などの記録があります。1月の凍結の頃にな

ると、霞ヶ浦や北浦へ移動するようです。

### ▼主な観察地

石岡市の恋瀬川河口などで見ることが出来ます。ここでは、涸沼よりヨシガモやハシビロガモなどが数多く観察できます。霞ヶ浦西部の調査で個体数をカウントする際、多くのカモ類の中で「ヨシガモはナポレオンの帽子のようで数えやすい。」と言いながら協力してくれる方もいました。10月からは庭や公園などで見られる冬鳥が増えてきました。皆さんもどのような鳥が見られるか観察してみてください。

## ちびっ子アート 飯沼こども園



「あめふりってすてき」  
きむら まほ (6歳)



「くだものだーいすき」  
おぎや りゅうせい (6歳)